

入院のご案内

本誌は必ず入院時にお持ちください。

産業医科大学病院

〒807-8556 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
(代表)TEL093-603-1611／入院受付TEL093-691-7308



ごあいさつ

このたびのご入院に際し、心よりお見舞い申し上げます。

入院されますと、ご家庭での生活とは異なり何かとご不自由を感じられる点もあろうかと存じますが、一日でも早く病院の環境や施設に慣れていただき、平穏な入院生活を送られますよう心からお祈りいたします。

産業医科大学病院長

研修・実習へのご協力をお願い

産業医科大学病院は、教育病院として未来を担う医学生、看護学生、臨床研修医などへの充実した教育研修と実習を行うこともその大切な目的の一つです。したがって、指導医、指導看護教員などの指導者とともに、学生や臨床研修医が患者さんに対する診療の見学、実習及び研修に参加させていただくことがあります。

なお、患者さんのプライバシー保護には十分注意いたします。この趣旨をどうぞご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

1. 包括同意について

包括同意には医療人を育成するために、また教育を充実させるために、診療に伴い発生する情報や試料等を教育に使用させていただくことに対して、あらかじめ同意をお願いするものです。不同意の意思表示がない場合は同意とみなし、教育の充実と発展のために診療に伴い発生する情報や試料等を使用させていただきます。

回診について

産業医科大学病院では、定期的に診療科の医師全員が参加して、患者さん一人一人に対して最も良い治療法の話し合いを行います。

その後、患者さんの状態を確認するため短時間ではありますが医療スタッフ全員による患者さん一人ずつの診察(回診と言います。)を行います。

患者さんにより良い治療を行う目的で回診を行いますが、もし、この回診を受けたくないという希望がございましたら、入院時や入院後に主治医もしくは担当看護師へお申出ください。それにより、診療上不利益を被ることは一切ございません。

産業医科大学病院の 理念及び患者の権利

理 念

- ☆患者第一の医療を行います。
- ☆科学的根拠に基づく安全かつ質の高い医療を提供します。
- ☆人間愛に徹した優れた産業医と医療人を育てます。
- ☆職種・職位・部門の垣根なく高い倫理観を持って互いの意見を尊重し、患者と職員の安全・安心に努めます。

患者の権利

- 個人としてその人格や価値観などが尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。
- ご自身の病気、受ける治療や検査などについて説明を受けることができ、治療法などについて選択、同意、拒否することができます。
- 医師、医療機関を自由に選択または変更することができ、あらゆる治療の段階において他の医師（医療機関）の意見を求めること（セカンドオピニオン）ができます。
- ご自分に関する情報の開示を受け、自己の健康状態について十分な情報を得ることができます。
- 医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られます。
- 性別、年齢、身体・精神の疾病や障がい、社会的・経済的状况等に関わらず、全ての患者さんは等しく上記の権利を有します。

●輸血を拒否される患者さんへ

産業医科大学病院では、宗教上の理由等による輸血拒否に対し、**「相対的無輸血」※1**の方針に基づき、以下のように対応いたします。

- 1 無輸血治療のために最善の努力を尽くしますが、輸血により生命の危険が回避できる可能性があるとは判断した場合には、同意を得られない場合でも輸血を実施いたします。
- 2 救命のために緊急手術・治療が必要な場合は、輸血拒否により手術・治療の同意書が得られない場合であっても、手術・治療を実施いたします。
- 3 輸血拒否をする患者さん、またはそのご家族が提示される「免責証書」等、**「絶対的無輸血治療」※2**に同意する文書には、署名はいたしません。
- 4 以上の方針は、患者さんの意識の有無、成年・未成年の別にかかわらず適用します。
- 5 自己決定が可能な患者さん、保護者、又は代理人に対しては、当院の方針を十分に説明し理解を得る努力をしますが、どうしても同意が得られず、治療に時間的余裕がある場合は、他医での治療をお勧めします。

※1 **【相対的無輸血】** 患者さんの意思を尊重して可能な限り無輸血治療に努力するが「輸血以外に救命手段がない」事態に至った時には輸血をするという立場・考え方

※2 **【絶対的無輸血】** 患者さんの意思を尊重し、たとえいかなる事態になっても輸血しないという立場・考え方

本院の入院期間について

本院は、1994年4月に特定機能病院の承認を受け、急性期の患者さんへの医療を提供する病院として位置づけられております。

特に、急性期を脱した入院患者さん（症状安定、術後の経過観察等）については、新たな急性期患者さんの受け入れのために、病床の移動や早期の退院、もしくは転院をして頂く場合があります。地域における効果的な医療資源の提供のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本院では、患者さんのスムーズな退院を促進するための退院計画を立案し実行する退院支援を実施しております。そのために、患者さんのご希望の病院や紹介元病院で治療をしていただくか、又は本院の協力病院等を紹介させていただき、患者さんの合意のもとで転院をしていただくこととなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

もくじ

1. 入院の申し込み	P1
2. 入院当日の手続き	P1
3. 入院時に用意していただくもの	P2
4. 病棟での生活	P3
5. 入院中に守っていただきたいこと	P5
6. 面会	P5
7. 私物・現金管理・買い物	P5
8. 入院の費用	P6
9. 外出・外泊	P7
10. 退院の手続き	P7
11. 駐車場	P7
12. 患者相談窓口のご案内	P8
13. 安全な入院生活を送るために	P9
14. 感染予防のために	P10
15. 院内のご案内	P11
限度額認定証の確認に関するお知らせ	P15

この『入院のご案内』は、本院に入院される場合の手続きや
病院内での生活に必要なことなどを書いております。
患者さんご本人はもちろん、ご家族の方もぜひお読みください。

当院は高度な急性期医療を中心に行う 特定機能病院です。

患者さん、ご家族の方へ大切なお願いがございます。

特定機能病院では、高度な急性期医療を中心に行なうことを役割としております。
従いまして、このような患者さんを一人でも多く治療させていただくため、**病状
が安定した患者さん**に、ご紹介元や、最寄りの医療機関への転院をお願いすることが
ございます。

転院をされる際には、当院が患者さん、ご家族の方に心を込めてサポートさせて
いただきますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

1 入院の申し込み

- 1 入院される方は、当院で診療を受け、医師から入院の指示を受けた方です。
- 2 医師から入院の指示がありましたら、1階の入院受付にお越しください。入院に必要な書類等をお渡しいたします。
- 3 入院の予約をされた患者さん、またはご家族の方には、医師より日程調整の連絡をいたします。入院の日が決まり次第、入院受付より改めて入院日の確認の連絡をいたします。
- 4 入院期日指定の場合も、入院予定日が変更になる場合があります。入院日の確認のため、必ずご連絡いたします。
なお、入院予定日の前日までに連絡がない場合は、入院受付にお尋ねください。
- 5 予定の日に入院が出来なくなった場合や、入院の必要がなくなり入院を取り消す場合は、早急に主治医又は診療科外来にご連絡ください。

2 入院当日の手続き

- 1 入院当日は午前9時00分から午前10時30分までに1階の入院受付にお越しください。
※上記この時間においでになれない場合は、入院受付にご連絡ください。
※休日に入院される際は防災センターにお尋ねください。

- 2 入院のときに必要な書類は、

- ① ☐ 入院証書
- ② 健康保険証等
 - ☐ マイナンバーカード（マイナ保険証）又は健康保険証（資格確認書）
 - ☐ 限度額適用認定証 ☐ 介護保険被保険者証
 - ☐ 後期高齢者医療被保険者証 ☐ 乳幼児等医療証 ☐ 障害者医療証
 - ☐ ひとり親家庭等医療証 ☐ 国民健康保険標準負担額減額認定証
- ③ ☐ その他療養の給付を証明するもの（労災、医療扶助等）
- ④ ☐ お薬手帳 ⑤ ☐ 針刺し事故同意書
- ⑥ ☐ 診療参加型臨床実習の同意について

※介護保険被保険者証をお持ちの方は、ご提示ください。

※入院中に保険証の有効期間、内容等に変更が生じた場合には、ただちに1階医事課入院係にお申し出ください。

※医療扶助、公費負担医療の申請をしている方、また、入院後に適用を受けた方は、1階医事課入院係にお申し出ください。

3 精神科での入院には、上記の他にも必要書類を揃えていただく場合があります。

3 入院時に用意していただくもの

1 身のまわりで必要なもの

- ①衣類：肌着、普段着、寝間着、オムツ着用の方は、オムツと廃棄用透明ビニール袋
 - ②洗面用具：歯ブラシ、歯磨き粉、プラスチックのコップ（陶器は破損しやすいため、陶器以外の物をご用意ください。）、義歯装着の方は、容器と洗浄剤
 - ③入浴用具：洗面器、身体を洗うタオル、石鹸、シャンプー、タオル、バスタオル、入浴後の洗濯物を入れる袋
 - ④靴：スニーカー等（ヒールがあるもの、クロックス、サンダル、スリッパ以外の物をご用意ください）
 - ⑤当院、他院で処方されている内服、外用、注射、お薬手帳と医療装具
 - ⑥必要な方は、洗濯洗剤、洗濯代、テレホンカード（病棟内公衆電話は硬貨非対応）、※プラスチック製のハンガー（針金のハンガーは持ち込み不可）、電気シェーバー（コード類は病状により使用を制限する可能性があります。コードを使用せずに充電できるものをご用意ください。）
- ※上着、ズボン共にできるだけヒモがついていないもの、ベルトを使用しないものをご用意ください。
- ※当院では患者さんがご入院中に必要とされる紙おむつ・寝巻・タオル類・日用品等の入院セット（アメニティセット）のレンタルを専門業者により導入しております。
- ※日用品については、ヘアブラシ・コップ・ティッシュ・お泊りセット（シャンプー・ボディソープ・歯ブラシセット）・マウススポンジ・入れ歯ケース・入れ歯洗浄剤・吸い飲み・食事用エプロン（ディスポ）が必要に応じて使用できます。
- 詳細につきましては、入院セット（アメニティセット）説明ブースにてお尋ねください。

2 病棟で貸出しているため必要ないもの

- ・鉛筆削り、爪切り、はさみ、ゴミ箱、ドライヤー、裁縫セット
- ※箸は毎食事についてきます。
- ・貸出時には、用紙への記入等所定の手続きがあります。
- ・貸出す時間は9時から17時までで、自室での使用はできません。

3 注意事項

- ①所持品には全て名前をご記入ください。
- ②盗難防止のため、多額の現金や貴重品はお持ちになりませんようお願いいたします。
- ③入院時、院外の外出・外泊からの帰棟時には、病室に入る前に所持品の確認を行います。医療スタッフが必要と判断した方には、その都度もしくは毎週火曜日に私物確認を行います。
- ④テレビは病棟のデイルームに1台備え付けています。
- ⑤神経精神科病棟は、治療と療養の観点から携帯電話制限区域です。病棟内での携帯電話の使用（電話・メール・撮影）はできません。外出時に制限区域外でご使用下さい。また、症状と主治医の判断により携帯電話の持ち込みができない場合があります。

<病棟への持ち込みができないもの>

安全確保と治療のため、病棟に持ち込みできない物品があります。但し、症状により使用や、持ち込みの制限、持ち込み自由なものでもお預かりをする場合もあります。

- ・鋭利な物、刃物等：カッター、はさみ、カミソリ、針、安全ピン、シャープナー（鉛筆削り）、フォークなど
- ・可燃物：マッチ、ライターなど
- ・通信・撮影機能のある機器：iPod touch、パソコン、携帯電話、タブレット端末、デジカメなど
- ・その他：針金のハンガー、漂白剤、薬品、陶器、ドライヤー、ベルト
- ・医療スタッフの判断で持ち込みができないと判断したもの

例 病状により使用や持ち込みを制限する可能性があるもの
ストッキング、鏡、コード類など



4 病棟での生活

1 <病棟設備、スケジュール>

起床・点灯：6時 就床・消灯：22時
食事 朝食：7時 昼食：12時 夕食：18時

2 <服薬時間>

毎食後30分以内と、寝る前の薬は21時30分に放送をします。
ナースステーション前までお越しいただき服薬確認にご協力ください。
内服、外用、注射等の薬品は看護師が管理します。
指示、処方通りの治療を行いますので、それ以外の薬は使用しないでください。
サプリメント等は使用前に主治医へ相談する必要があります。

<頓服薬>

医師の指示により、体調が悪い時に臨時で利用できる薬があります。
眠れないときの頓服薬は23時00分から3時00分まで使用できます。
病状、医師の指示により一人一人異なります。

3 <入 浴>

- ・入浴介助が不要と医療スタッフが判断した方
月曜日、水曜日、金曜日 看護師が案内します。
午前9時から15時30分
- ・入浴介助が必要と医療スタッフが判断した方
火曜日、木曜日 9時から11時

入浴中の事故防止のために下記のことにご協力をお願いします。

- ◆温度の変化、水圧の変化は、血圧の変動や心臓への負担を増加させますので、できる限り20分以上の入浴は避けてください。
- ◆空腹時と食後1時間以内の入浴は避けてください。
- ◆気分不良時はナースコールでお知らせください。
- ◆入浴中は鍵をかけないようにお願いします。
- ◆安全確認のため職員が定期的に声かけをいたします。
ご返事がない場合は、浴室内を確認させていただきます。



4 <洗面所、デイルーム、公衆電話>

使用時間 6時～22時まで

5 <洗 濯>

病棟に洗濯機と乾燥機があります。洗濯機は有料、乾燥機は料金を頂いておりません。6時から20時までで使用してください。

ご本人、ご家族共に行えない時には、洗濯業者への委託を看護師が説明します。

6 <ナースコール>

病室以外にも、トイレ、浴室、洗面所に設置しています。

7 <日 課>

9時～ラジオ体操 13時50分～下肢筋力トレーニング

14時～レクリエーション

上記の時間前後に放送をします。

8 <寝 具>

ふとん、シーツ、枕、枕カバーは病院で準備しています。

シーツ交換は週1回行います。

9 <付き添い>

看護師が交代で24時間お世話しますので、原則必要ありません。

10 <教授回診>

月曜日午後

11 館内一斉放送について

診療上、昼夜を問わず（24時間体制）一斉放送する場合があります。

特に、夜間のハリーコール（緊急呼び出し）、EMコール（暴言暴力対応呼び出し）等につきましては、ご理解ください。

●ハリーコール 「ハリー先生！ハリー先生！〇〇館〇〇階〇〇室までお越し下さい」

●EMコール 「〇〇館〇〇階〇〇室にてEMコールです！」

その他病院長が必要と判断した場合は、一斉放送をします。ご協力をお願いします。

12 職員の感染防止について

職員が針刺し事故など、血液体液に曝露した場合、職員の安全を守るために患者さんへ「肝炎ウイルスやHIV,HTLV-1」等の血液検査を実施させていただきます。重篤な感染症から職員を守るという主旨をご理解いただきご協力をお願いします。

5 入院中に守っていただきたいこと

- 1 入院患者間での、私物、現金、食べ物、ゲームなどの貸し借り、やりとりはトラブルの原因になりますので、行わないようにお願いします。ゲームの対人対戦も同様です。
- 2 病院内全館禁煙、敷地内全面禁煙および周辺地域も禁煙となっており、入院中の飲酒もできません。タバコ、アルコール類の持ち込みもできません。
(電子タバコも含みます)

6 面会

面会時間：午後1時～午後6時

面会の方へ

病室での面会は、同室者に迷惑となる場合があるため、デイルームをお願いします。

※面会の方は、8A病棟受付にお申し出てください。

※飲食物、生花の持ち込みをお断りしておりますので、ご了承ください。

※病院内全館および敷地内全面禁煙となっております。

※面会の方の病棟内での飲食は堅くお断りいたします。

※小学生以下のお子さんの面会は感染防止や患者さん安静保持のため、ご遠慮ください。

※一度に大勢の方の面会をご遠慮ください。

※個人情報保護のため、医療従事者は患者さんの入院の有無や入院先のお尋ねについて、患者さんのご承諾がない場合は、お答えしないことを基本としています。

面会時に持込禁止物品（前掲）を、決してお持ち込みになりませんよう、ご協力をお願いいたします。

入院の患者さんは、携帯電話の規制を守られております。面会の方は、病棟に入られる前に、マナーモードではなく、必ず携帯電話の電源をお切りください。

7 私物・現金管理・買い物

- ・私物、現金はご自身で管理していただきます。
- ・病棟設置の鍵付きロッカーを使用してください。
- ・料金は頂いておりません。
- ・無料で使用できる程度のスペースとセキュリティであり、ロッカーを含む病棟内での紛失・盗難時の保証と責任は負えませんので、私物の持ち込みは必要最低限でお願いします。
- ・キャッシュカード、通帳、保険証、印鑑、免許証、住民基本台帳カードなど、紛失時に警察への届け出を行う可能性があるものと、入院生活に不必要な物は、私物管理の代行は行えません。
- ・病状、医師の指示により異なりますが、9時から17時まで院内外出が行えます。院内外出が行えない方は、看護師が火曜日と金曜日に、院内の売店で買い物の代行をいたします。

8 入院の費用

1 入院の費用について

- ①保険の種類により算定された医療費のほかに食事療養費自己負担額が加算されます。
- ②入院日及び退院日は、その時刻にかかわらず所定の費用を1日分いただきます。入院費用は、退院時（土日等 休日退院を除く）および毎月1回1日から月末までの分を翌月14日前後に、請求書を発行し、病棟でお渡しいたします。

2 入院中に請求書を受け取られましたら、5日以内に1階の「③お支払い」窓口もしくは自動支払機でお支払いください。

退院時のお支払いについては、次ページ「⑩退院の手続き」をご参照ください。

3 お支払時間：平日午前9時から午後5時まで

お支払いは、クレジットカード（VISA・MasterCard・JCB・DISCOVER・DinersClub・アメリカンエクスプレス）もご利用できます。

4 入院費用等についてご不明な点がございましたら、看護師長又は1階医事課入院係にお尋ねください。

入院中に他病院へ受診される際は、必ず事前に主治医、または病棟看護師にご相談ください。ご相談なく、他病院で診察や投薬を受けられた場合は全額患者さんのご負担となりますのでご注意ください。

●「マイナンバーカード（マイナ保険証）」をお持ちの方は、限度額適用認定証の利用ができます。

●「限度額適用認定証」をお持ちの方は、入院時の窓口でのお支払いが1ヶ月毎に適用区分に応じた自己負担限度額までとなります。入院当日、入院受付に「限度額適用認定証」をご提示ください。

なお、「限度額適用認定証」の交付は事前申請が必要となり、認定証の発行に関しては、健康保険証を発行しているところにお問い合わせください。

●国民健康保険標準負担額減額認定証をお持ちの方は、食事療養費自己負担額が減額されます。入院当日、入院受付に認定証をご提示ください。

なお、認定証の発行に関しては、各区役所の国保年金課又は各市町村の保健福祉センター等にお問い合わせください。

休日に退院される患者へ

休日中の診療内容により、請求金額が変わることがございます。それにより休日に退院される患者については、請求書を退院時や前日にお渡しできないこともございますので、その際は後日連絡いたします。

9 外出・外泊

- 1 主治医の許可が必要です。
- 2 原則として保護者同伴です。
- 3 帰院時には、持込禁止物品を持参されませんようお願いいたします。

10 退院の手続き

- 1 退院は原則として午前10時までをお願いいたします。
- 2 平日に退院の場合は、請求書を当日お渡しいたしますので、1階「③お支払い」窓口もしくは自動支払機でお支払いください。詳細は請求書の裏面をお読みください。
- 3 退院が土・日・祝日などの休日の場合は、請求書を休日の前日にお渡しいたします。請求書を受け取られた日にお支払いをお済ませください。
なお、お支払いが休日となる場合は、時間外受付でお取扱いいたします。
お支払いは、クレジットカード（VISA・MasterCard・JCB・DISCOVER・DinersClub・アメリカンエクスプレス）もご利用できます。
請求書をお渡しできない場合は、後日、ご連絡いたします。
- 4 入院証明書など診断書の必要な方は、病院1階「医療文書受付窓口（受付カウンター⑤番）」にお申し出ください。生命保険会社、各種公費制度の診断書等には指定用紙がありますので、あらかじめ指定用紙をお取り寄せの上、お申込みください。なお、交付までには、原則として2週間程お時間がかかりますことをご了承ください。
- 5 お帰りになるときは、必ずナースステーションに声をかけていただき、薬・病棟に預けられた物品を受け取るほか外来診察日等の説明をお受けください。
- 6 アメニティをご利用の方は、後日請求書が届けられます。
※病院職員への心づかいなどは、固くお断りしておりますのでご承知ください。

11 駐車場

- 1 入院中は、外来駐車場のご利用はできませんので、自家用車での来院は、ご遠慮ください。
- 2 自家用車を外来駐車場に駐車させたまま緊急入院した場合は、入院後ご家族等に連絡して、できるだけ早く退車をお願いいたします。
- 3 次の場合は、超過料金の割引があります。1階入院受付に駐車券をご提示ください。（時間外（17時15分以降）は、防災センターにご提示ください。）

①入院当日に付き添われる **家族**

②手術当日に付き添われる **家族**

料金／1日…200円

なお、入院当日および手術当日に数回出入されるご家族の方は、2回目以降は**無料**となります。初回出庫される際に領収書発行ボタンを押して領収書を発行し、**領収書**と**駐車券**を入院受付（時間外は防災センター）にご提示ください。

4 面会の方が外来駐車場をご利用になる場合は、通常の料金となりますので、ご了承ください。

■外来駐車場料金表

30分まで無料		
基本料金	5 時間まで	200 円
超過料金	1 時間につき	100 円

12 患者相談窓口のご案内

このたび入院されるにあたり、病気のこと、入院中の生活のこと、経済面のことなど心配なことがありましたら、医師、看護師、または医事課にご相談ください。

また、病院 1 階「患者相談窓口」でも専門の相談員が相談をお受けしております。相談者の秘密を守り、相談により相談者が不利益を受けることがないように配慮いたします。

患者相談窓口について

① 窓口の設置場所	病院本館 1 階中央通路「患者相談窓口」
② 担当者及び責任者	担当者：相談員（医療メディエーター）、看護師、事務員 責任者：患者サービス室長
③ 窓口対応時間	8：30～17：15（休診日を除く）

- 診察・治療に関する心配、悩みについて
- 介護保険・在宅医療等について
- 入院・転院・退院について
- 治療後の社会復帰（職場、学校等）について
- 医療費について
- 意見・要望について

その他についても、お気軽にご相談ください。

問題解決のお手伝いをいたします。

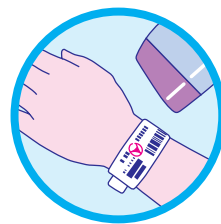
当院では、主役である患者さんやご家族に医療に参加していただき、病院職員と理解を深めていただくことで、安全で安心な医療を提供したいと考えています。

1 リストバンド装着のお願い

当院ではご本人確認のために入院中はリストバンドの装着をお願いしています。

リストバンドには、患者さんの「お名前」「患者番号」「性別」「生年月日」「バーコード」「病院名」を表示しています。注射・輸血・手術・検査などにおける患者さん誤認を防止し、入院治療が安全に行われることを目的にしております。

リストバンド装着につきましては、患者さんの自由意志によりますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



2 転倒・転落を防ぐためのお願い

入院中に起こり得る転倒・転落の危険性について、患者及びご家族の皆さんにご理解いただき、転倒転落予防のためのご協力をお願いいたします。

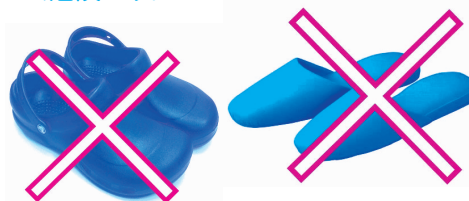
お勧めの履物

- かかとが包まれていて、足を上げた時に脱げにくいもの
- 脱ぎ・履きが楽なもの



転倒しやすい履物

- クロックスのように滑り止めが強いシューズは、靴底が引っかかります。
- スリッパは底がすべりやすくて、脱げやすく危険です。



軽くて安定しており、歩行しやすいシューズを売店で購入できます。

皆さんの安全を守るためにお勧めの履物をお選び下さい。ご協力をお願い致します。

3 患者さんも医療チームの一員です!!

- ◆ ご自身の健康状態に関する正しい情報をお伝えください。
- ◆ 納得できる医療を受けるために、ご自分の病気・治療・検査などについて、十分理解できるまで情報や説明を求めましょう。
- ◆ 治療に関して。ご自身やご家族の意思を明確に伝えましょう。
— 輸血に関すること、宗教的なこと、人工呼吸器などの使用について —
- ◆ 注射や内服薬などの治療や検査を受ける場合は、ご本人確認のためにフルネームと生年月日をお聞きします。
- ◆ 過去にアレルギーを起こした「薬剤」「食べ物」についてお伝えください。
- ◆ 患者の皆さんの体調を正しく理解するために、他の病院や外来で薬を処方されている方は、現在服用している薬を看護師にお渡しください。

14 感染予防のために

- ◆感染予防のために、食事の前やトイレの後、病室への入退室の際には、病室前に備え付けの手指消毒剤の使用、あるいは洗面所での手洗いに協力ください。



病室の入り口等に置いている手指消毒剤は、1プッシュが1回量になります。
ポンプを下まで押し込み、手のひらに取った手指消毒剤をまんべんなく両手にすり込んでください。

- ◆院内ではマスクの着用をお願いします。

- ◆伝染性の病気にかかっている方のご面会はかたくお断りしています。
(例えば・・・水ぼうそう・はしか・インフルエンザ・風邪など)



- ◆小学生以下のお子様のご面会はお断りしております。



- ◆持ち込み品について

- ・食べ物を持ち込みはご遠慮ください。許可を得て持ち込まれる場合は、なるべく長期間置かないようにお願いします。細菌が増殖し食中毒の原因になります。
- ・生花の持ち込みをお断りしています。花瓶やアレンジメントのスポンジの水に細菌が繁殖することがありますので、抵抗力の落ちている患者さんには危険なことがあります。
- ・入院物品は直接床に置かないようにお願いします。
- ・洗濯ものはあまり貯めないようにしてください。細菌やカビの繁殖の原因になります。

- ◆个人防护具マークの貼布について

- ・病室前（もしくはカーテン）にマスク、医療用手袋等必要な个人防护具を明示する為、マークを貼付する場合があります、感染症から患者さんおよびご家族を守るという主旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。



- ◆職員が針刺し事故など、血液体液に暴露した場合、患者さんへ「肝炎ウイルスやエイズウイルス」の血液検査をお願いする事があります。重篤な感染症から職員を守るという主旨をご理解いただき、ご協力ください。

病院案内

	病院本館 A病棟	病院本館 B病棟
10F	10A病棟	
9F		9B病棟
8F	8A病棟	8B病棟
7F		7B病棟
5F	5A病棟	5B病棟
4F	栄養相談室	4B病棟
3F		
2F	外来：内科、小児科、小児外科、産婦人科、眼科、神経・精神科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、腎センター、がん相談支援センター、患者サポートセンター、内視鏡部、臨床検査・輸血部、退院支援室	
1F	外来：外科、整形外科、脳神経外科、脳卒中血管内科、脳神経内科、リハビリテーション科、メンタルヘルスセンター、緩和ケアセンター、就学・就労支援センター、入院支援室、入院受付、外来総合受付、薬剤部、患者相談窓口、会計窓口、医療文書受付窓口、ラウンジ、防災センター、売店、職員食堂、銀行、レストラン＆コーヒーショップ、医事課、在宅看護支援室	
BF	放射線診断科、核医学科、薬剤部、放射線治療科、栄養部	

	急性期診療棟		南別館	西別館
5F	5C病棟、5D病棟	4F		4W病棟
4F	4C病棟	3F	3S病棟	3W病棟
3F	手術室、ICU (特定集中治療室)	2F	2S病棟	2W病棟
2F	2C病棟 総合周産期母子医療センター ・NICU (新生児特定集中治療室) ・MFICU (母体・胎児集中治療室) ・GCU (新生児治療回復室)	1F	外来 歯科・口腔外科 麻酔科 総合診療科 心臓血管外科 両立支援科	外来 泌尿器科 皮膚科 形成外科
1F	救急外来、血管造影室、両立支援室	BF	放射線治療科	

	産業医実務研修センター		東病棟 東別館
1F	臨床研究推進センター、 患者申出療養相談窓口	1F	1E病棟
BF	血液内科、外来化学療法室、美容室・理容室		血友病センター 認知症センター

精神科病院における「虐待通報が義務化」されます



令和6年4月から精神保健福祉法が改正され、都道府県等への虐待通報が義務化されました。精神科病院における業務従事者※による虐待を受けたと思われる精神障害者を発見した際には、以下の連絡先に通報してください。業務従事者は、通報したことを理由として、解雇その他不利益な取扱いを受けないと定められています。また、業務従事者による虐待を受けた精神障害者は、その旨を都道府県に届け出ることができます。

※業務従事者とは、医師や看護師等の医療従事者だけでなく、精神科病院で勤務している全ての方を指します。

自治体の連絡先（電話番号や電子メール等）

北九州市保健福祉局 精神保健・地域移行推進課 精神保健係

TEL：093-582-2839 Email：ho-seishinhoken@city.kitakyushu.lg.jp

病院の連絡先

患者相談窓口 TEL：093-691-7568

令和3年度障害者総合福祉推進事業を参考に厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課作成

精神科病院における虐待通報の義務化について

令和6年4月から、精神科病院における業務従事者（※）による虐待を発見した者から都道府県等への通報の義務化が始まりました。

障害者虐待防止法では、虐待の類型と定義は以下のように示されています。

①身体的虐待

障害者の身体に外傷が生じ、若しくは生じるおそれのある暴行を加え、又は正当な理由なく障害者の身体を拘束すること。

②性的虐待

障害者にわいせつな行為をすること又は障害者にわいせつな行為をさせること。

③心理的虐待

障害者に対する著しい暴言、著しく拒絶的な対応又は不当な差別的な言動その他の障害者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

④放棄・放置（ネグレクト）

障害者を衰弱させるような著しい減食又は長時間の放置、他の利用者による上記に掲げる行為と同様の行為の放置その他の障害者を養護すべき職務上の義務を著しく怠ること。

⑤経済的虐待

障害者の財産を不当に処分することその他障害者から不当に財産上の利益を得ること。

ご自身が業務従事者から虐待を受けていると感じた場合、あるいは他の患者さんが虐待を受けている場面を見かけた場合は、以下の連絡先に通報してください。

●自治体の連絡先（電話番号や電子メールなど）

北九州市保健福祉局 精神保健・地域移行推進課 精神保健係

TEL：093-582-2839

Email：ho-seishinhoken@city.kitakyushu.lg.jp

病院の中にも通知窓口を設けています。

●病院の連絡先

患者相談窓口 TEL：093-691-7568

※ 業務従事者とは、医師や看護師等の医療従事者だけではなく、精神科病院で勤務している全ての方を指します。

サービスコーナー

◆本館1階

サービス コーナー	営 業 時 間			備 考
	平 日	土曜日	日・祝日	
売 店	7:00~22:00 ※年中無休			取扱い品 入院・手術に必要な医療用品、食料品、新聞、文房具、化粧品、テレホンカード、本、はがき、切手、テレビ用イヤホンなど 取扱い業務 写真現像、宅配便など
レストラン	10:30~15:30	休業	休業	
タリーズ コーヒー	8:00~18:00	休業	休業	
銀行窓口	9:00~15:00	休業	休業	西日本シティ銀行 ATM 9:00~17:45
現金自動 サービス コーナー	9:00~17:00	休業	休業	福岡銀行 郵便局
新聞自動 販売機				朝刊、夕刊、スポーツ新聞
ラウンジ	お薬の服用や休憩などにご自由にご利用ください。			設置 自動販売機 本館用テレビカード販売機
入院セット 説明窓口 (アメニティセット)	8:30~17:00	休業	休業	入院時に必要な紙おむつ・寝巻・タオル類・日用品などをレンタル。貸しベッド

●公衆電話は本館1階・5階・7階・8階・10階にあります。

●テレビカードの精算機は売店横に設置しています。

◆本館地下1階

サービス コーナー	営 業 時 間			備 考
	平 日	土曜日	日・祝日	
美容室 ミューズ	9:00~17:00	9:00~15:00	休業	予約受付、病室への出張もいたします。
理容室 サンエイ	9:00~17:00	9:00~15:00	休業	

◆急性期診療棟

サービス コーナー	営 業 時 間			備 考
	平 日	土曜日	日・祝日	
新聞自動 販売機				朝刊、夕刊、スポーツ新聞

限度額認定証の確認に関するお知らせ



限度額認定証とは…所得に応じた区分によって医療費の自己負担額が軽減される制度。

例えば、10万点×3割＝300,000円の請求に対して、
限度額認定証を使用すると※57,600円（※区分Eの場合）
差し引き **242,400円** 窓口負担が抑えられる。

申請書での限度額発行は役所・協会けんぽ等へ申請し2～3週間程度要しますが、

当医療機関では、患者さんの限度額認定証を役所等へ
申請に行かなくても健康保険証と
“パソコン（オンライン）”を用いて
“入院期間中”に確認できるようになりました！

当医療機関では、主に以下の健康保険証情報を確認しています。

1. 皆様が加入している医療保険
2. 会計時の診療費の負担割合や上限額 等



※現在、当院でのオンライン資格確認は入院患者さんのみ対応となっておりますので、
当院外来受診、非対応病院への転院・受診時に使用する際は新たに発行
頂く必要がございます。

（外来受診と同月であっても適応は入院期間のみに限らせていただきます。）

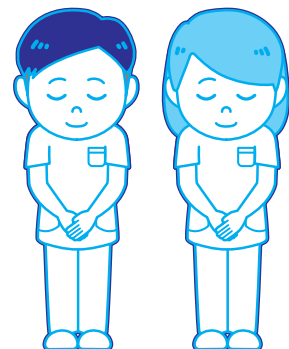
※退院後も限度額認定証をご利用になりたい方は、ご自身で役所等への申請をお願いします

限度額認定証オンライン確認は、患者さん・ご家族の提供確認-同意-が
必要となりますので口頭もしくは紙面にて確認致します。

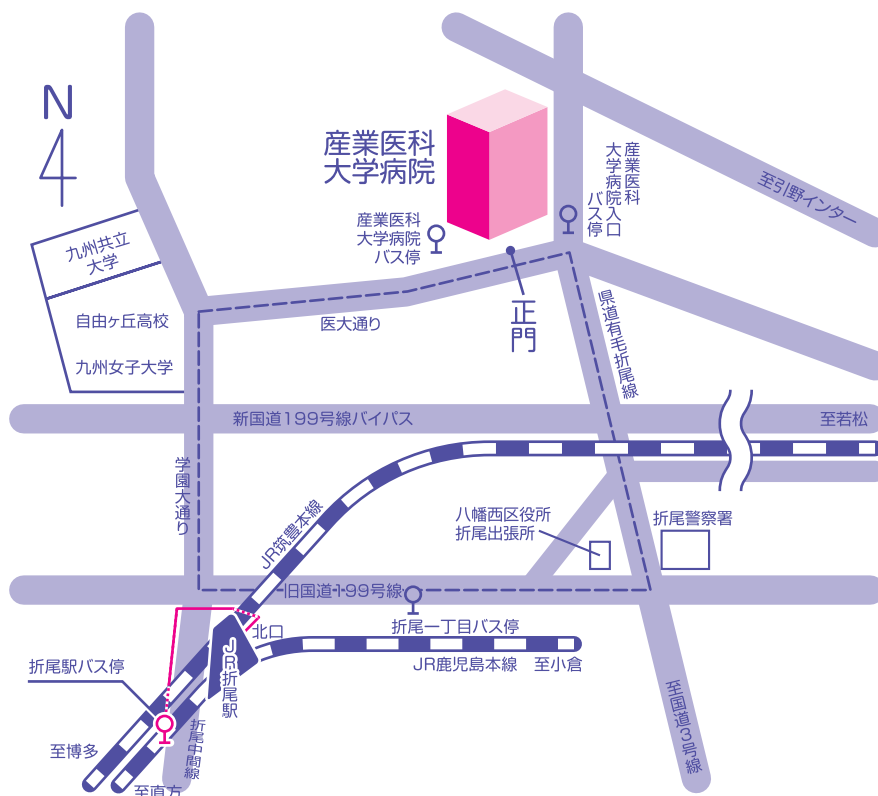
※ ご不明点あれば、医事課入院係までお声がけお願いいたします。

患者さんへのお願い

- 1 ご自身の健康状態やその変化については、速やかに正確にお知らせください。
- 2 納得できる医療を受けるために、検査や治療などの医療行為に関して不明な点は質問を十分に行ってください。
- 3 すべての患者さんが快適な環境で適切な医療を受けることができるように、社会的ルールや病院の諸規則、職員の指示を守ってください。
 - ・病院の設備や器物は、大切に扱ってください。
 - ・病院敷地内は全面禁煙です。また、大学周辺での禁煙についても協力をお願いします。(電子たばこ含む)
 - ・他の患者さんや職員に対する暴言・暴力等の迷惑行為は、固く禁じます。上記の事項を守っていただけない場合、診療の開始や継続ができないことがあります。また、警察への通報や法的措置により対応することがあります。
- 4 院内における無許可での撮影(写真、録画等)および録音等並びにSNS等へ投稿禁止について
当院では、患者さんや職員のプライバシーおよび個人情報を保護するため、院内で許可なく撮影(写真、録画等)および録音等を行うことを禁止しています。許可なく撮影および録音等を行っていることが判明した場合は、データを削除させていただきます。
- 5 院内における飲酒およびそれに準ずる行為の禁止について
当院では、患者さんの安全と健康を最優先に考え、院内での飲酒およびそれに準ずる行為を一切禁止しております。(飲酒の禁止にはノンアルコール飲料も含まれます)
- 6 受けた医療行為に対しての医療費は遅滞なくお支払いをお願いします。
- 7 当院は教育機関ですので、医学生や看護学生等が指導者の監督の下に見学や実習・研修に伺うことがあります。ご理解とご協力をお願いします。



産業医科大学病院案内図



アクセス

◆JR折尾駅

徒歩…約20分 タクシー…約10分
バス…約10分

●JR折尾駅(北口)

折尾駅北口を出てバス停(5番のりば)から市営バス「産業医大経由」に乗車、産業医科大学病院入口、産業医科大学で下車

◆JR黒崎駅

タクシー…約20分
バス…約25分

●黒崎バスセンターから

市営バス、西鉄バス「産業医大経由」に乗車
産業医科大学病院入口、産業医科大学病院で下車